

**2009年9月改訂(第4版)

日本標準商品分類番号

*2005年6月改訂

87729

貯 法：2～8℃保存(凍結不可)

使用期限：直接の容器、外箱に表示(3年)

注 意：使用後は汚染を防ぐため

スポイトキャップをよく締めること。

薬価収載 1984年2月

販売開始 1984年8月

アレルギー検査薬

診断用スクラッチエキス ダニ・ヨモギ・チモシー花粉

*処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

販 売 名	承認番号
アレルギースクラッチエキス「トリイ」ダニ	(59AM)221
アレルギースクラッチエキス「トリイ」ヨモギ花粉	(59AM)222
アレルギースクラッチエキス「トリイ」チモシー花粉	(59AM)223

【組成・性状】

組 成	本剤は各々の原料を50%グリセリン食塩溶液で抽出して得た特異的アレルギーを含むもので、原料重量に対し、ダニ[ダニ種：コナヒョウヒダニ <i>Dermatophagoides farinae</i>]は100倍液(1:100)、ヨモギ花粉及びチモシー花粉は20倍液(1:20)である。		
添 加 物	濃グリセリン50%($\%w/w$) 塩化ナトリウム5%($\%w/w$)		
性 状	販 売 名	色	pH
	アレルギースクラッチエキス「トリイ」ダニ	淡黄色～淡褐色澄明又は振り混ぜるときわずかな浮遊物を認める	5.5 } 7.5
	アレルギースクラッチエキス「トリイ」ヨモギ花粉	黄色～褐色澄明又は振り混ぜるときわずかな浮遊物を認める	4.5 } 6.5
アレルギースクラッチエキス「トリイ」チモシー花粉			

【効能又は効果】

診断

アレルギー性疾患のアレルゲンの確認

**【用法及び用量】

診断

通常乱刺または切皮法により皮膚面に出血しない程度に傷をつけ、本品1滴を滴下し、15～30分後に膨疹径が対照の2倍以上または5mm以上を陽性とする。
なお、対照液はアレルギースクラッチエキス対照液「トリイ」を用いる。

**【使用上の注意】

**1. 重要な基本的注意

- (1) ショック等の発現を予測するため、十分な問診を行うこと。
- (2) ショック発現時に救急処置のとれる準備をしておくこと。
- (3) 投与後患者を安静の状態に保たせ、十分な観察を行うこと。
- (4) 正確な皮膚反応を行うため、皮膚反応検査前日から抗ヒスタミン薬やメチエータ遊離抑制薬の投与を中止すること。
また、皮膚反応検査を実施する約1週間前から投与を中止することが望ましい薬剤があるので注意すること。

(5) 反応が陰性を示したときでも、問診等から原因アレルギーとして特に疑われる場合には、日を改めて再検査することが望ましい。

** (6) 非選択的β遮断薬服用患者への注意

検査のために本剤が投与されたときに、本剤による反応(アレルギー反応)が強くあらわれることがある。また、本剤によるアレルギー反応の処置のためにアドレナリンを投与したとき、アドレナリンの効果が通常の用量では十分発現しないことがある。

2. 副作用

本剤にてスクラッチ反応を実施した659症例において、検査施行後に喘息発作が誘発された症例が1例みられたが、スクラッチ反応との因果関係があるとは断定し得なかった。その他に副作用は認められなかった(承認時)。

(1) 重大な副作用

ショック(頻度不明)
ショックを起こすことがあるので、観察を十分に行い、くしゃみ、蕁麻疹、血管浮腫、不快感、口内異常感、喘鳴、耳鳴等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

観察を十分に行い、次のような症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

	頻度不明
過敏症	喘息発作の誘発、眼瞼又は口唇の浮腫、発疹、掻痒等

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので検査に際しては注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

ヒスタミンは子宮筋収縮作用を有することが知られているので、妊娠中はヒスタミン遊離が考えられる広範なテストは避けること。

** 5. 適用上の注意

** (1) 投与時

別途販売のスクラッチエキス用対照液(アレルギースクラッチエキス対照液「トリイ」)を同時に用いて反応を比較すること。

(2) 判定時

真菌類のエキスは、遅延型反応を認めることがある。

【臨床成績】¹⁾

1. 陽性率及び他の検査結果との一致性

原因アレルゲンがダニ、ヨモギ花粉又はチモシー花粉と推定されるアレルギー性疾患患者を対照とした本剤の陽性率ならびに他の検査結果との一致性は次の通りである。

スクラッチ反応陽性率

科名	施設 品目 数	ダニ		ヨモギ花粉		チモシー花粉	
		ダニ	%	ヨモギ花粉	%	チモシー花粉	%
内科	6	260/348	74.7	12/66	18.2	8/66	12.1
小児科	3	51/65	78.5	12/65	18.5	19/65	29.2
耳鼻咽喉科	6	126/226	55.8	97/207	46.9	108/207	52.2
計	15	437/639	68.4	121/338	35.8	135/338	39.9

分子：スクラッチ反応陽性症例数、分母：スクラッチ反応施行症例数

ダニにおけるスクラッチ反応と他の検査結果との一致性

検査名 項目	皮内反応		RAST		吸入誘発		鼻ディスク誘発	
	陽性(%)	陰性(%)	陽性(%)	陰性(%)	陽性(%)	陰性(%)	陽性(%)	陰性(%)
スクラッチ 反応	陽性 235(93.6)	陰性 16(6.4)	陽性 188(80.3)	陰性 46(19.7)	陽性 70(94.6)	陰性 4(5.4)	陽性 41(91.1)	陰性 4(8.9)
一致率	71(51.8)	66(48.2)	16(17.2)	77(82.8)	0(0)	2(100)	11(36.7)	19(63.3)
相関性	301/388 (77.6)		265/327 (81.0)		72/76 (94.7)		60/75 (80.0)	
	$\phi=0.49$ $p<0.005$		$\phi=0.58$ $p<0.005$		$\phi=0.56$ $p<0.005$		$\phi=0.58$ $p<0.005$	

ヨモギ花粉におけるスクラッチ反応と他の検査結果との一致性

検査名 項目	皮内反応		RAST		鼻ディスク誘発	
	陽性(%)	陰性(%)	陽性(%)	陰性(%)	陽性(%)	陰性(%)
スクラッチ 反応	陽性 81(85.3)	陰性 14(14.7)	陽性 27(40.9)	陰性 39(59.1)	陽性 34(79.1)	陰性 9(20.9)
一致率	33(25.2)	98(74.8)	1(0.9)	107(99.1)	1(5.9)	16(94.1)
相関性	179/226 (79.2)		134/174 (77.0)		50/60 (83.3)	
	$\phi=0.59$ $p<0.005$		$\phi=0.53$ $p<0.005$		$\phi=0.67$ $p<0.005$	

チモシー花粉におけるスクラッチ反応と他の検査結果との一致性

検査名 項目	皮内反応		RAST		鼻ディスク誘発	
	陽性(%)	陰性(%)	陽性(%)	陰性(%)	陽性(%)	陰性(%)
スクラッチ 反応	陽性 110(92.4)	陰性 9(7.6)	陽性 49(64.5)	陰性 27(35.5)	陽性 62(91.2)	陰性 6(8.8)
一致率	37(26.1)	105(73.9)	2(2.0)	99(98.0)	0(0)	14(100)
相関性	215/261 (82.4)		148/177 (83.6)		76/82 (92.7)	
	$\phi=0.67$ $p<0.005$		$\phi=0.68$ $p<0.005$		$\phi=0.80$ $p<0.005$	

【薬効薬理】

本剤はマウス及びラットを用いたPCA反応により、IgE抗体と反応して陽性皮膚反応を惹起する(アレルゲン性を有すること、また、対応するIgE抗体とのみ反応する(特異性を有すること)ことが判明した。

【包装】

1 mL点滴用スポイト付瓶

【主要文献】

1) 宮本昭正ほか：基礎と臨床、15(5)298, 1981

【文献請求先】

鳥居薬品株式会社 お客様相談室
〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1
TEL 0120-316-834
FAX 03-5203-7335

製造
販売元



鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1